

# 「未来への手紙」について

## 「未来への手紙」の募集概要

### 目的

東日本大震災・原発事故を知らない世代へ記憶や教訓を伝承すること

### 募集内容

震災学習等、震災を学んだことで感じた以下のテーマについて、200字～300字程度で募集。

- ① 将来へ伝えたい教訓（震災を学んで初めて気付いたこと、防災に関する知識等）
- ② 将来の自分へのメッセージ（復興への誓い等）
- ③ 将来の福島県への願い（福島がどうなって欲しいか等）

### 対象（震災学習の成果と継承の視点）

県内の中学生（県内の中学校または義務教育学校後期課程に在学中の者）

### 募集期間

令和5年8月28日（月）から令和5年10月31日（火）

### 活用方法

- ① 東日本大震災追悼復興祈念式における読み上げ（3作品）
- ② 3月1日に発出する知事メッセージの作成に活用
- ③ 県HP等での公表
- ④ 伝承館における紹介（3月11日～）、アーカイブ化
- ⑤ 県内中学校への共有を通じた震災教育への活用

## 「未来への手紙」の応募状況

**応募総数** 729通（11校等）

<テーマ毎の応募数>

- |                |      |
|----------------|------|
| ① 将来へ伝えたい教訓    | 270通 |
| ② 将来の自分へのメッセージ | 154通 |
| ③ 将来の福島県への願い   | 305通 |

## 「未来への手紙」選定会

### 選定メンバー

大学生等12名

### 選定のフロー

- (1) 事前審査（12月に実施済）  
選定メンバーをテーマ毎に3グループに分け、各自事前審査により候補作品を選定
- (2) **選定会（1月25日実施）**

#### ① グループワーク

作品のテーマ毎に3グループに分け、グループワークにより「祈念式における読み上げ作品」を選定。

#### ② 報告会

グループワークにより選定した作品をグループ毎に知事に報告等を実施。